



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



2015-2016年度
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン
R.I. 2720 地区 ガバナー 野田三郎
熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2015年9月14日】

第1189回
2015-2016年度 第9回
【例会】
熊本グリーンRACとの合同例会

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

君が代
「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

・熊本市トリアスロン協会
会長 吉村譲二 氏
大会実行委員長 片平芳樹 氏

・熊本市域RC
熊本RC 立石和裕 君

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

古い佛典「スッタニパータ」(経集)の650偈
「生まれによってバラモンになるのではない…行為によってバラモンなのである」インドでは、現在も差別社会(カースト制)の国ですが、最上階級のバラモンとは生まれではなく、行いによってバラモンと呼ばれるのだという釈迦の主張です。釈迦の説いた教えは、当時のインドの差別社会で、平等を主張したものでした。しかし、現実社会には実現出来ず、釈迦

の教団の中でのみ実行されました。インドでは、仏教はイスラム教侵入後は、ヒンドゥー教に吸収されましたが、近年アンベードカールが最下層の不可蝕民制の撤廃運動で、数十万の大衆とともにヒンドゥー教から仏教に改宗し、平等を主張しました。彼ら約380万人は新仏教徒と呼ばれています。

日本ではこの釈迦の言葉とは逆に、仏教僧が行為によって仏教僧になるのではなく生まれによって仏教僧となっています。教団のトップも生まれによってなっている者が多く、日本の天皇制も生まれによって成立しています。これは日本の歴史的事情もあって、そういう構造になっているのです。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本グリーンRC】

9月28日(火)の例会は、観月例会のため、同日18:30に、KKR熊本1F「ロータスガーデン」にて行います。

【熊本'05福祉RC】

9月15日(火)の例会は、新入会員歓迎例会のため9月19日(土)18:00より「火の国ハイツ」にて行います。

卓話
予定

- 9/28 「観月例会」※例会場変更 (於：KKRホテル 1F「ロータスガーデン」)
- 10/5 「漢字のなりたり」熊本県書道連盟 理事長 平方研水 氏
- 10/12 祝日(体育の日)の為、例会取り止め
- 10/19 「混合医療」伊津野良治 会員卓話
- 10/26 米山奨学生卓話 陳 婧 (チンセイ) さん (女性:中国福建省出身:熊本大学・文化学部)

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

出席報告 (葉高源 会員)

	会員総数	22名	出席率
9月14日	出席免除会員数	1名	76.19%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	16名	
8月31日	前回の出席会員数	14名	76.19%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	16名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・8/22 熊本'05福祉RC創立10周年式典 仙波 君、荒木 君			

委員会報告

①「ロータリーの友9月号」内容紹介
報告者：本田悟士 クラブ広報委員長

②熊本グリーンRC第3回親睦ゴルフ会及び熊本中央RC第7回チャリティゴルフ
報告者：河島 一夫 ゴルフ部キャプテン
A. 「熊本グリーンRC「第3回 親睦ゴルフ会」
日時：平成27年10月13日（火）
集合08:40/スタート09:13
場所：グランドチャンピオンゴルフクラブ
プレー費：9,000円位（キャディ付）
B. 「熊本中央RC第7回チャリティゴルフ」
日時：平成27年10月23日（金）
例会及び開会式：07:45
1組目スタート08:43
場所：グランドチャンピオンゴルフクラブ
プレー費：9,000円（昼食、1ドリンク、キャディ、乗用カート付）
参加費：3,000円
競技方法：ダブルペリア方式（年齢上位）/スルーザグリーン6インチプレー表彰式：同ゴルフ場内コンパルムにて開催★豪華飛び賞、各種催し多数!!ご期待下さい。



スマイル (河島 一夫 会員)

- 大友 利行 君、荒木 一之 君
「第13回スーパースプリント・アクアスロン大会の吉村会長、片平実行委員長、今夜は宜しくお願い致します。大会に参加させて頂き、大会の大きさに驚きました。」
- 田中 純司 君
「熊本市トライアスロン協会、吉村会長、片平実行委員長ようこそいらっしゃいました。「第13回スーパースプリント・アクアスロン大会」の報告よろしくお願ひ致します。サックスの演奏も楽しみにしています。」
- 中島三千代 君
「関東、東北地方の大雨被害や、今日は阿蘇山の噴火など、自然災害の厳しさを身近に感じる今日この頃ですが、今週の花言葉のように希望を持って毎日の仕事に頑張りましょう。」
- 葉高源 君、河島 一夫 君
①「今年は随兵寒夜がいつになく早く感じるようになりました。本来は明日が藤崎宮大祭ですが、今年は日曜日の20日です。小さい時から家の前を通る祭りですので、今年ももう秋がきたのかと思う今日この頃です。上通りの馬追いも無事に済みますようスマイルです。」

3. 例会プログラム

紹介者： 田中 純司 会員



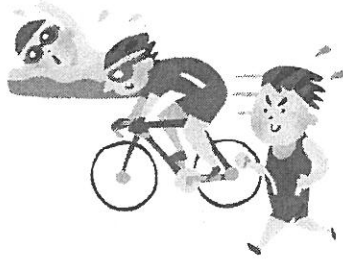
「第13回スーパースプリント・アクアスロン」大会報告

熊本市トライアスロン協会 吉村讓二 会長

熊本市トライアスロン協会
片平芳樹 大会実行委員長 氏



熊本市トライアスロン協会
吉村譲二 会長



熊本市トライアスロン協会
片平芳樹 大会実行委員長

★大会報告の後、演奏者としても著名な吉村会長の素晴らしいサックスの演奏を聞かせて頂きました。

4. 閉会・点鐘

会長メッセージ



私の祖国がある南アジアは、懸命な活動が実を結び、1年以上前に「ポリオフリー」と宣言されました。しかし、ポリオの恐怖は今も人びとの記憶に生々しく残っています。ある日、子どもの体調が悪くなり、次の日には発熱して、二度と歩けなくなる。

インドとバングラデシュでは、こんな恐ろしい悪夢が現実となってしまった人を、誰でも一人は知っています。

1990年代、ロータリー財団による支援の下、南アジア地域で最初にポリオ撲滅に成功した国の一つがスリランカでした。これは、この国の識字率が高かったことと、出産の90%が病院で行われていたことが要因としてあります。ただし、スリランカはとても大きな難題を抱えていました。26年にも及ぶ内戦の只中であつたのです。

ロータリアンである私たちにとって、戦争は、乗り越えねばならない多くの壁の一つでした。反乱軍と交渉した時、反乱軍から送られてきた手紙には次のようにありました。「我々の敵は子どもではない。政府が武器を置くのなら、我々もそうしよう」。こうして実現した2日間の停戦中、私たちはワクチンの入った冷却容器をジープに積み、白旗を掲げて反乱軍の支配地域に赴き、タミル族も、シンハラ族も、すべての子どもにワクチンを投与しました。ロータリーのおかげで、今日、スリランカにポリオはありません。

ポリオ撲滅活動は終わったどころか、もっと強化していく必要があり、のんびりしている余裕はありません。失敗は許されないのです。私たちが果たす役割は、これまでも増して重要です。地元で、ソーシャルメディアで、地元議員に向けて、また、ロータリー財団を通じて、情報を広め、認識を高めなければなりません。長いレースは終盤を迎え、ゴール地点はすぐそこにあります。ポリオ撲滅を成し遂げ、「世界へのプレゼントになろう」ではありませんか。

コココーラ社との提携から学ぶ



世界ポリオ撲滅は大きな取り組みであり、ロータリーが単独で達成できるものではありません。できるだけ多くの多国籍企業、政府、非政府団体(NGO)と手を組み、そのリソースを注ぎ込む必要があります。

パキスタンでは、ポリオ予防委員会とコココーラビレッジ・パキスタン社とが効果的に協力しています。コココーラ社は、思えない人びとの生活の質を高める社会責任イニシアチブに力を入れています。このビジョンがロータリーと共通であることに注目した私たちは、同社と協力してポリオ撲滅への認識を高め、地域社会をより良くするための活動を開始しました。2012年4月の世界保健チームには、ロータリー会員とコココーラビレッジ・パキスタン社の社員が一緒にゴミ拾いと清掃キャンペーンを実施しました。

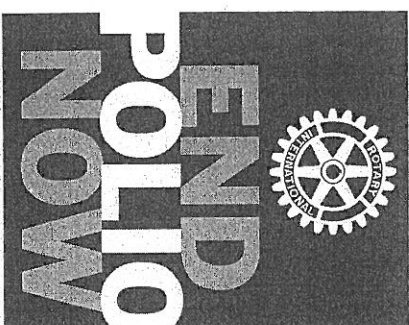
パキスタンの一部地域、特にポリオ感染の危険の高い地域は、安全な飲み水が不足している地域でもあります。これを受けて、2014年1月、コココーラビレッジ・パキスタン社が逆浸透式浄水施設の建設資金を援助。これにより、2万人の地域住民が、毎日3千ガロン(11,356リットル)の浄水を利用できるようになりました。

さらに、電力供給が不安定なこの地域で、冷蔵庫も稼働できないよう、発電機を寄贈しました。カラチ・カルサス・ロータリークラブは、近隣地域への水供給を監督しています。

こうした取り組みのおかげで、以前に予防接種の拒否率が高かったこの地域で、ポリオ予防プログラムへの信頼が高まりました。地元医療センターの記録によると、定期予防接種を受ける子どもの数が大幅に増えたそうです。

コココーラビレッジ・パキスタン社との協力は、活動の幅を広げるだけでなく、信頼関係を築き、ロータリーのポリオ撲滅活動に対する注目を高めるという恩恵をもたらしました。

※アジズ・マモン・パキスタン・ポリオ予防委員会、現Kings Group of Companies会長、第3271地区(パキスタン)バスターガバナー、カラチ・ロータリークラブ元会長、マジヤードナー。ロータリーの各種賞(超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状など)を受賞。



他団体との協力のアイデア

- ① 地元にある多国籍企業かどのような分野の社会貢献に力を入れているかを調べ、その分野で協力する。
- ② 非営利団体や企業と提携し、世界ポリオデー、アースデー、世界保健チームに合同でゴミ拾い活動を実施する。
- ③ 製薬会社と提携し、低所得者のための無料医療活動を実施する。
- ④ 食料や飲料の多国籍企業と提携し、小売店の店頭でポリオ撲滅のメッセージを展示してもらおう。
- ⑤ デラソンやワーカーキング大会を開催して地元企業にスポンサーになってもらい、企業のロゴとEnd Polio Nowロゴの両方が入ったTシャツ、リストバンド、帽子、バッジなどをつくる。